文化伝承館の名作　紙芝居

文化伝承館には、平成14年(2002)から約10年かけて作成した紙芝居があります。館の主催事業として、子どもたちが描き手となり、八千代市に残された昔話を題材とした紙芝居作りを実施したのです。21作もあります。現在は、この紙芝居などを活用して「本だいすき！の会」の皆様に「紙芝居と昔話の会」を開催していただいています。また、貸し出しもしています。

必ずしも起承転結が明確でない昔話を、内容を大きく変えることなく、物語らしくすることには、たいへんな苦労があったのではないかと推察されます。

子どもたちが描いた絵には不思議な魅力があります。大胆な構図や、色使いなどです。

紙芝居が始まると、子どもたちは次第にひきこまれて行きます。子どもだけでなく、高齢者にも好評とのことです。

21作の題名を列挙します。

１．スイカの話　２．ずるころぴょん　３．乳清水　４．ムリドンの話
５．すわり地蔵　６．勝田の獅子舞　７．おしどり伝説　８．権現山の昔話
９．沖の塚弁天　10．キツネに化かされた小話　11．正覚院鴨鴛寺ものがたり
12．道陸神様の足　13．薪で作った像　14．酒屋の白鼠
15．コマまわし小僧とムジナ　16．オケラとタメッコ女郎
17．ゴンベエムツのおどけ話　18．絹売り殺し
19．歩いて行った釈迦像　20．きつねの成田みち　21．雨乞いと水神



スイカの話



ずるころぴょん



権現山の昔話



雨乞いと水神

八千代市文化伝承館だより

令和5年癸卯　旧暦六月

継
Ｋｅｉ

2023．8．1　No. 25
編集
発行　八千代市文化伝承館

〒276-0043　八千代市萱田 460-3

電　話　047-484-9011(郷土博物館)
ＦＡＸ　047-482-9041(郷土博物館)
メール　kyoudo@city.yachiyo.chiba.jp

令和４年度事業報告

令和４年度も新型コロナウィルス感染症の影響がぬぐいきれない一年でしたが、そのような中で、主催講座は、「紙芝居と昔話の会」を４月から実施し、７月からは「子ども邦楽教室」も再開しました。「本だいすき!の会」、「八千代市三曲協会」の皆様のご協力のおかげです。御礼申し上げます。あわせて、ご参加いただいた皆様にも感謝申し上げます。

今後も、新型コロナウィルス感染症の状況を注視しつつ、館の運営を進めてまいります。そして、さらなる主催講座の再開を目指します。

令和4年度の利用状況

開館日数　244日

主催講座　20回484名　伝統文化団体の利用 352回3,079名　その他の団体の利用 118回1,640名　見学・遊具利用など 1,105名　計6,308名

紙芝居などの館外貸出　13件

刊行物

７月１日(金)「継」24号の刊行

令和4年度の文化伝承館の主なできごと

４月20日(水)「紙芝居と昔話の会」第１回を実施。以下、５月18日、６月22日、７月20日、９月21日、10月19日、11月16日、１月18日、２月15日（いずれも水曜日）に実施（全９回）

７月16日(土)「子ども邦楽教室」第１回を実施。以下、９月３日・17日、10月１日、11月５日・12日、12月10日、１月14日、２月18日、３月４日・５日（３月５日は日曜日、他は土曜日）に実施（全11回、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため３回中止）

10月21日(金) 萱田小学校２年生「町探検」で来館



樹木剪定
3年度、駐車場脇の樹木から枯れ枝が落下し、駐車中の自動車を傷つけるという事故があり、使用中止していた駐車場ですが、高所の枝を剪定して安全性を確保し、使用を再開しました。



紙芝居と昔話の会



子ども邦楽教室